

東京空港交通株式会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社
三菱ふそうバス製造株式会社

**車椅子のまま乗車可能なエレベーター付バスの開発と日本初の
空港連絡バスへの導入**

●エレベーター付バスの導入と高速路線での運用によるユニバーサルサービスの
拡充の実現

従来のリフト付バス利用者の意見を収集し、問題点・課題点を元にバスメーカーへ改善要望し、車椅子のまま乗車可能な空港連絡バスの新たなタイプとして「エレベーター付リムジンバス」の開発につなげた。国内で初めて導入、営業運行を行い、高速路線の新たな選択肢が増えることにより更なるユニバーサルサービスを拡充することが可能となった。



エレベーター付バス乗車風景



エレベーター付バス乗車風景

●車椅子のまま乗車可能なエレベーター付バスの開発

三菱ふそうトラック・バス株式会社・三菱ふそうバス製造株式会社では、車椅子乗降時間を短縮し、かつ手荷物室を確保出来る車両について検討した結果エレベーター付バスという新たな方式に至り、設計・試作及び評価を重ねエレベーター付バスを開発・製品化した。

北大阪急行電鉄株式会社

全駅可動式ホームドアの設置と多面的なバリアフリー化への取組

●全駅可動式ホーム柵設置の実現

乗降客1日10万人以上の駅はないが、全駅への可動式ホーム柵設置を2018年3月に完了。接触事故や軌道内転落を防ぎ、ホーム上の安全性が向上した。



千里中央駅ホーム柵



緑地公園駅ホーム柵

●水準の高い多面的なバリアフリー整備

可動式ホーム柵設置の他、ホームと車両の段差・隙間解消、誘導ブロックの視認性向上、耳の不自由なお客様のために会話支援スピーカーを設置するなど多面的な整備によってバリアフリー整備を推進。



櫛ゴムによる隙間解消



窓口での会話支援スピーカーの設置

東急電鉄株式会社

ホームドアの全駅整備計画、接客サービスの強化等の ハード・ソフト一体となったバリアフリーの実現

●乗降客10万人以上の駅だけでなく全ての駅のホームドア整備の実現

2014年度から、全ての駅にホームドアの整備を進めており、2019年度末までに整備完了を予定している。ホームドアを設置したことでホーム転落件数等は減少傾向にあり、事故防止効果が認められる。



渋谷駅ホームドア

●バリアフリー連絡アプリの開発とその活用

これまで介助が必要な車いす利用者や視覚障害者の方に行っていた駅間の連絡について、駅員が確実な連携を行うために、情報共有が容易、かつ簡単な入力で対応が可能なアプリを開発することでミスを軽減し、確実な案内をおこなうことが可能となった。



バリアフリーアプリの使用



バリアフリーアプリ画面例

スルッとKANSAI協議会

障害者手帳の提示無しで割引可能なICカードの普及

●特別割引用ICカードの活用により乗車時の手続きの簡素化

これまで磁気乗車券の購入時や利用時には手帳の提示が必要だったが、特別割引用ICカードを使うことで、申込み時と年1回の更新時に本人確認と障害者手帳確認手続きを行うことで、乗車ごとの確認を省略することができ、障害のある利用者の利便性を高めることが出来た。



ICカードによる改札利用イメージ

●鉄道・バス事業者と調整を行い、特別割引用ICカードの実現

特別割引用ICカードで広範囲に割引が利用できるシステムの実現のため、58の加盟事業者との継続的な調整を行い、実現をさせた。

本人用

特別割引用ICカード

氏名 スルット タロウ

カード番号 0000 0000 0000 0000

有効期限 20XX年X月末

株式会社スルッとKANSAIが認める特別割引用ICカード取扱事業者でご利用いただけます。
介護者用カードと一緒にご利用ください。(取扱事業者が別途認める場合を除く)

特別割引用ICカード(本人用)

介護者用

特別割引用ICカード

被介護者 スルット タロウ

カード番号 0000 0000 0000 0000

有効期限 20XX年X月末

株式会社スルッとKANSAIが認める特別割引用ICカード取扱事業者でご利用いただけます。
本人用カードと一緒にご利用ください。(介護者用のみでの単独利用はできません)

特別割引用ICカード(介護者用)

芸陽バス株式会社

交通事業者として地域と連携して認知症の方を サポートする積極的な取組

- 地域に寄り添うバス事業者として、認知症サポーターの取組の推進
社長以下幹部社員が認知症サポーター養成講座の受講を進めた結果、本社社員の90%以上が受講を行っている。また、認知症と思われる方への声かけを行うこと
によって、行方不明の高齢者の保護に貢献するなど効果が認められる。



社内研修の様子

- 地域と連携して、取組の広がりにも貢献

東広島市と共催で認知症サポーター養成講座を開き、シンポジウムなどを通じ会社自ら同業他社へ声かけを行うなど、自社だけでなく業界全体での取組の広がりにも貢献している。



東広島市認知症ポスター



認知症シンポジウムでの取組報告

成田国際空港株式会社

世界トップレベルのユニバーサルデザイン水準を目指した 多様な取組

- 「成田空港UD推進委員会」を設立し、取組を推進するための指針として「成田空港UD基本計画」を策定

2017年5月「成田空港UD推進委員会」を設立し、UDに関する基本的な考え方や取組の方向性について検討を進め、2018年4月に具体的な取組を推進するための指針となる「成田空港UD基本計画」と、それに基づいて2020年までに実施する具体的な取組を決定するなど着実な取組として評価される。



成田空港UD推進委員会

- 発達障害の特性のある方や知的、精神障害の方に対する各種施策の実施

航空会社と共同した搭乗体験プログラムの実施、カームダウン・クールダウン用のスペースの設置、空港予習冊子の導入といった発達障害の特性のある方や知的、精神障害の方に対する各種施策を実施。



カームダウン用スペース



子供向け空港予習冊子